



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年10月1日号 文責 上久木田 雄二



働くことのイメージ

9月は祝日が2回あります。カレンダーの並びがよければ、連休となり「シルバーウィーク」と呼ばれるようになりました。

10月の祝日はスポーツの日と改名され、第2月曜日の設定となりました。本来は最初の東京オリンピックの開会式の日を示し、10月10日となっていました。覚えている方も多いと思います。統計上晴れの日になる確率が高い日を選んだのだと言われています。

11月3日の文化の日は、明治天皇の誕生日であったことと日本国憲法の発布日であったことが由来です。

11月23日は「勤労感謝の日」で宮中行事が由来とされています。

日本は諸外国に比べ祝日は多いほうです。勤勉な性格の日本人は、法律で設定しないと仕事を休まない（休めない・休みにくい）ことと関係しているのではないかと思います。

日本人学校に勤めていた時に、日本の祝日もオーストラリアの祝日も休業日でした。それでも圧倒的に日本の祝日の方が多かったことを覚えています。オーストラリア人は、計画的に休むことを好んでいたように感じています。

最近の子どもは、大人と同じようにしたがります。自分たちが規制されていることを大人がしていると、法を犯したかのような言いぶりをし、理由を問いただしたがります。

そんな時私は、「一生懸命勉強をして、早く大人になりなさい。」と言います。

大人であればなんでも好きなことをしていいと言っているわけではありません。大人は一定の責任のもと、自分自身の自由を手に入れていることを教えたいのです。

保護者の保護管理下にいる子どもは、十分な責任を果たすことはできません。だから自ずと自由も制限されます。

もうずいぶん前から子どもは、早く大人になることを嫌うようになりました。

「モラトリアム」という言葉を使って表現していたこともありました。

働くことのイメージが「お金」と「面倒」だけになってしまい、働くという責任を果たさないまま、自分の自由だけを得ようとするずるい考えが身に付いているのではないかと危惧します。

「早く一人前になりたい」という言葉は、もはや死語にでもなったのでしょうか。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

